

港区子ども・子育て支援ニーズ調査

(小学校1・2年生の保護者用)



日頃から港区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

港区は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、5年間を一期とする「港区子ども・子育て支援事業計画（平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）」）を策定し、計画的に教育・保育・地域の子育て支援事業に取り組んでいます。

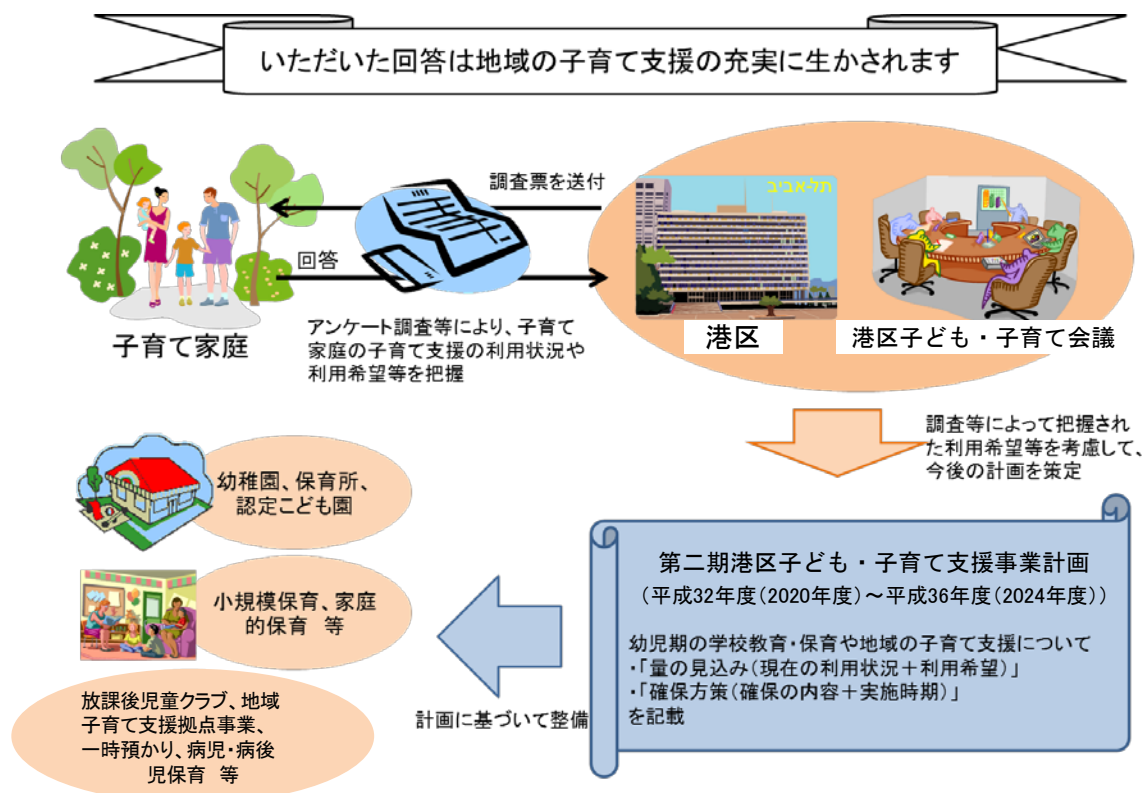
この調査は、次期「第二期港区子ども・子育て支援事業計画（平成32年度（2020年度）～平成36年度（2024年度）」）を策定するにあたり、今後の子ども・子育て支援を充実するために、区民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを伺います。

本調査は、区内にお住まいの小学校入学前のお子さんの中から5,000人、小学校1・2年生のお子さんの中から2,000人を無作為抽出し、保護者の皆様に協力をお願いするものです。

質問数が多く、ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

港区長 武井 雅昭



<子ども・子育て支援新制度の考え方>

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することをめざしています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援をめざしています。

【回答にあたってのお願い】

- この調査は無記名で行い、回答いただいた内容はすべて統計的に処理しますので、ご本人が特定されることはありません。
- 封筒のあて名のお子さんについてお答えください。また、あて名のお子さんの保護者の方を「あなた」とします。お子さんの保護者の方が答えてください。
- 回答は、郵送による回答方法とインターネットによる回答方法があります。詳しくは次ページを参照ください。
- 回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと、枠内に記入（入力）するものがあります。また、設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿って回答してください。
- 郵送回答・インターネット回答いずれの回答方法の場合も、12月3日（月）までに、ご回答ください。**
- 調査内容や回答方法についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施機関・問合せ先】

株式会社 日本能率協会総合研究所

電話：0120-●●●-●●●●（フリーダイヤル） メール：●●●●

電話受付時間：月曜日～金曜日（平日）10：00～17：00

【問合せ先】

港区 子ども家庭支援部 子ども家庭課 子ども家庭係

電話 03-3578-2442（直通）

受付時間：月曜日～金曜日（平日）9：00～17：00

本調査へのご回答方法

回答は、「送付した調査票に直接記入いただき、回答する方法」、または、「インターネット（パソコン、スマートフォンなど）で回答する方法」のどちらか1つをお選びください。

●郵送による回答方法

1. 調査票に記載の設問文をお読みいただき、直接回答を書き込んでください。
2. 黒のペン又はボールペンでご記入ください。
3. 回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、締切日までに郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません）

●インターネットによる回答方法

1. パソコン、スマートフォンなどで、次のURLを入力するか、二次元コード（QRコード）を読み込み、アクセスしてください。



サイトURL	二次元コード
--------	--------

2. 次の「利用者ID」と「パスワード」を入力してください。この利用者IDとパスワードは、回答内容を識別するものであり、個人を特定するものではありません。

利用者ID【 6桁数字 】パスワード【 6桁英語小文字 】

3. 画面の指示をお読みいただきながら、ご回答ください。
最後まで入力が完了しましたら、ボタン【確認画面へ】をクリックしてください。
確認画面へ移動後、入力した情報を確認し、問題なければボタン【送信する】をクリックしてください。入力した情報を修正したい場合は、ボタン【修正する】をクリックしてください。入力画面に戻ります。ボタン【送信する】をクリック後、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば、終了になります。

4. 注意事項

入力画面上部にあるボタン【入力内容を一時的に保存する】をクリックすると、入力内容を一時的に保存することができます。再度同じ利用者IDでログインすれば、入力を再開することができます。

ログイン後、30分で自動的にログアウトされますのでご注意ください。また、自動ログアウト時に入力内容は消失してしまうので、30分以上離席する際は、ボタン【入力内容を一時的に保存する】をクリックし、入力内容を一時保存してください。

問7 あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

- | | | |
|--------------|--------------------|-------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 4. 民間の賃貸マンション・アパート | 7. 社宅・公務員宿舎 |
| 2. 持家（マンション） | 5. 都営・区営・区立住宅 | 8. その他 |
| 3. 借家（一戸建て） | 6. UR（旧公団）・公社の賃貸住宅 | （ ） |

問8 あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

- | | | |
|-----------|-------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5～10年未満 | 7. 生まれてからずっと港区 |
| 2. 1～3年未満 | 5. 10～20年未満 | に住んでいる |
| 3. 3～5年未満 | 6. 20年以上 | |

問8-1 あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 子どもの出産を機に転入した | ⇒問8-2へ |
| 2. 保育園・幼稚園への入園のために転入した | |
| 3. 小学校への入学のために転入した | |
| 4. インターナショナルスクールに入るために転入した | |
| 5. 子どもの出産前から住んでいる | ⇒問9へ |
| 6. その他（ ） | |
| 7. 特に理由はない | |

問8-2 問8-1で「1.」～「3.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。次のうち、さらにあてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○） ←

- | |
|---------------------------|
| 1. 出産費用助成があるため |
| 2. 第2子以降の保育料が無料のため |
| 3. 入園したい保育園・幼稚園があるため |
| 4. 入学したい小学校があるため |
| 5. 入りたいインターナショナルスクールがあるため |
| 6. 職場が近く、子育てがしやすいため |
| 7. その他（ ） |
| 8. 特に理由はない |

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 日常的に祖父母を含む親族にみてもらえる | ⇒問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒問10へ |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

すべての方のうちうかがいます。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 	⇒(1)-1、 (1)-2へ
<ol style="list-style-type: none"> 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	⇒(2)へ

(1)-1 (1)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方のうちうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり（ ）日 1日あたり（ ）時間

(2)-2 (1)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方のうちうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間（ ）時（ ）分 帰宅時間（ ）時（ ）分※24時間制でお答えください
--

(2) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 	⇒(2)-1、 (2)-2へ
<ol style="list-style-type: none"> 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	⇒問12へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方のうちうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり（ ）日 1日あたり（ ）時間

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間 () 時 () 分 帰宅時間 () 時 () 分※24時間制でお答えください

問12 問11の(1)または(2)で、「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれの欄に○はひとつだけ)

(1)父親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい
(2)母親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

問13 問11の(1)または(2)で、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれの欄に○はひとつだけ)

また、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)父親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート、アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) ⇒1週あたり()日 1日あたり()時間
(2)母親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート、アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) ⇒1週あたり()日 1日あたり()時間

問14 宛名のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 200万円未満	5. 500～700万円未満	9. 2,000万円以上
2. 200～300万円未満	6. 700～1,000万円未満	10. わからない
3. 300～400万円未満	7. 1,000～1,500万円未満	
4. 400～500万円未満	8. 1,500～2,000万円未満	

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。（○はひとつだけ）

1. あった ⇒問15-1へ	2. なかった ⇒問16へ
----------------	---------------

問15-1 この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

（あてはまる番号すべてに○）

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が仕事を休んだ	() 日	⇒問15-2へ
イ. 母親が仕事を休んだ	() 日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日	
エ. 父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	() 日	
オ. 居宅訪問型保育や派遣型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した	() 日	⇒問15-5へ
カ. ファミリー・サポート・センター（育児サポート子むすびなど地域住民による子どもの預かりサービス）を利用した	() 日	
キ. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	() 日	
ク. その他()	() 日	

問15-2 問15-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。（○はひとつだけ）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒問15-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒問15-4へ

問15-3 問15-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 | |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 | |
| 3. 地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：派遣型の一時保育等） | |
| 4. その他（ | ） |

問15-4 問15-2で「2.利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 4. 利用料がかかる・高い |
| 2. 事業の質に不安がある | 5. 利用料がわからない |
| 3. 事業の利便性 | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| （立地や利用可能時間、日数など）がよくない | 7. その他（ |

問15-5 問15-1で「ウ」～「ク」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

（○はひとつだけ）

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒（ | ）日 ⇒問16へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | ⇒問15-6へ |

問15-6 問15-5で「2.休んで看ることは非常に難しい」と回答した方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 2. 自営業なので休めない | 4. その他（ |

宛名のお子さんが不定期に、または宿泊を伴って利用する事業についてうかがいます

問16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

利用している事業	日数(年間)	
1. 一時預かり(あい・ぼーと) (私用など理由を問わずに一時的に子どもをお預かりする事業)	()日	
2. 居宅訪問型保育や派遣型一時保育(ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業)を利用した	()日	
3. ファミリー・サポート・センター(育児サポート子むすび等の地域住民による子どもの預かりサービス)を利用した	()日	⇒問17へ
4. トワイライトステイ(Pokkeにおける夜間の一時預かり)	()日	
5. 緊急一時保護(障害保健福祉センター)を利用した	()日	
6. その他()	()日	
7. 利用していない		⇒問16-1へ

問16-1 問16で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象者になるのかどうか、わからない
2. 事業の質に不安がある	8. 利用できるサービスを知らなかった
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	9. 日常接していない人に預けるのが不安
4. 事業の利用方法(手続き等)がわからない	10. その他()
5. 利用料がかかる、高い	11. 利用する必要がない
6. 利用料がわからない	

問17 宛名のお子さんに関して、私用(買物、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望がある場合は、当てはまる記号に○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください)(あてはまる番号すべてに○)

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

希望がない場合は、「2.利用したいとは思わない」に○をつけてください。

1. 利用したい	計()日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	()日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	()日
ウ. 不定期の就労	()日
エ. その他()	()日
2. 利用したいとは思わない	

問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）
必要がなかった場合は、「2. なかった」に○をつけてください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. ショートステイ (Pokke) を利用した	() 泊
	ウ. 緊急一時保護、レスパイト保護 (障害保健福祉センター) を利用した	() 泊
	エ. やむを得ず子どもを同行させた	() 泊
	オ. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他 ()	() 泊
2. なかった		

⇒問18-1へ

問18-1 問18で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方にかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。（○はひとつだけ）

1. 非常に困難 2. どちらかといえば困難 3. 特に困難ではない

宛名のお子さんの小学校での放課後の過ごし方についてうかがいます

問19 宛名のお子さんが通学している小学校はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 港区立小学校（4を除く） | 4. 港区立小学校の特別支援学級 |
| 2. 国立、私立の小学校 | 5. その他（インターナショナルスクールなど） |
| 3. 特別支援学校 | |

問20 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまるすべて番号に○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）
また、「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 () 日くらい
4. 児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）	週 () 日くらい
5. 放課GO→・放課後GO→クラブ（月～金 17時まで）	週 () 日くらい
6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）	週 () 日くらい ⇒下校時から () 時まで
7. 私立（民設民営）の学童クラブ	週 () 日くらい ⇒下校時から () 時まで
8. 放課後等デイサービス	週 () 日くらい
9. その他（公園など）	週 () 日くらい

問21 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

また、「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）	週（ ）日くらい
5. 放課GO→・放課後GO→クラブ（月～金 17時まで）	週（ ）日くらい
6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
7. 私立（民設民営）の学童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
8. 放課後等デイサービス	週（ ）日くらい
9. その他（公園など）	週（ ）日くらい

問22 問20または問21で、「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて○をつけ、利用したい回数、時間帯について数字をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)土曜日（○はひとつだけ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→	利用したい回数 月（ ）回程度
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		利用したい時間帯
3. 利用する必要はない		（ ）時から（ ）時まで

(2)日曜・祝日（○はひとつだけ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→	利用したい回数 月（ ）回程度
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		利用したい時間帯
3. 利用する必要はない		（ ）時から（ ）時まで

問23 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。（○はひとつだけ）

また、利用したい日数について、数字をご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→	利用したい日数（週 日）
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		利用したい時間帯
3. 利用する必要はない		（ ）時から（ ）時まで

問24 宛名のお子さんの小学校の放課後の過ごし方に関して、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

--

子育ての環境についてうかがいます

問25 日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（〇はひとつだけ）

1. ある	3. あまりない
2. ときどきある	4. ない

問26 港区の子育て環境への満足度についてお答えください。（〇はひとつだけ）

1. 満足	3. どちらでもない	5. 不満
2. やや満足	4. やや不満	

問27 これからも港区に住み続けたいと思いますか。（〇はひとつだけ）

1. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい	4. 子どもの大学卒業まで住み続けたい
2. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい	5. ずっと住み続けたい
3. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい	6. その他（ ）

問28 最後に、港区の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、12月3日（月）までに郵送（投函）してください。切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒にあなたのお名前やご住所等をお書きにならないでください。